

6月議会にも計画案を発表か？

# 高校統廃合 新年度のたたかいスタート

知事宛の署名(第3弾)を一気に集めましょう。  
最終締め切りは6月16日(木)です。

高校統廃合計画づくりを1年先送りした県教委は、新年度に入り改めて計画案をつくっています。6月24日から始まる県議会に、その内容を発表する可能性があります。

新年度のたたかいが始まっています。



八日市南  
の存続を

同窓  
会長

知事

大丈夫  
です

5月16日、「東近江地域農業者・農業関係者一同」(代表は八日市南高校同窓会長と自営者クラブ会長)は、知事を訪問し「県立八日市南高校の存続を求める」要請を行いました。要請に対して、知事はその場で「大丈夫です」と応じたようです。

「八日市南高校の存続を」東近江 農業関係者から779名の署名

八日市南高同窓会長の東野進さんから報告が届きました。紹介します。

県立八日市南高等学校同窓会と自営者クラブは、去る5月16日嘉田知事を訪問し、「県立八日市南高等学校の存続を求めるお願い」をしました。同校では、昨年10月、東近江市議会へ請願書を提出し、市議会は全会一致で知事、教育長宛てに意見書を提出しました。

その後、私たちの中で、滋賀県農業の中心、東近江地域での八日市南高の地域農業の振興に果たしてきた誇りある歴史、国の基である農業の未来への礎を確保すべく農業教育の場を絶対無くさないでほしいとの思いが募ってきました。「今一度県当局へ要請を」と、役員、地域農業者から熱い思いが寄せられ、今回の嘉田知事への要請になりました。南校出身の自営農業者を中心に、東近江周辺各町の農業関係者から、農作業の忙しい中でも779名もの思いが集まりました。またJAグリーン近江、JA湖東町、JA滋賀蒲生町のみなさんからも多くの賛同が寄せられました。

席上、知事からは「社会での農業の果たす役割の大切さの確認」とともに「地域のみなさんとともに歩む同校の学校運営の在り方への賞賛」と「さらなる継続に向けて励ましの言葉」が述べられました。

同窓会、自営者クラブでは「嘉田知事の存続へのご決断を期待しつつ、県当局の方向を注視し、農業者の思いが実るよう体制の維持強化に努める」と決意をしています。

ストップ高校統廃合速報 2011年度第1号

2011/6/1 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

(増し刷りして全教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)